

## 第4学年 道徳学習指導案

平成24年11月16日（金） 第5校時

- 1 主 題 名 心を伝える言葉 2-(1) 礼儀  
 2 資 料 名 かなちゃんへの手紙 (出典 彩の国の道徳「みんな なかよし」埼玉県教育委員会)  
 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目2-(1)は、「礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。」ことをねらいとしている。低学年においては、具体的な指導を通して、気持ちの良いあいさつ、言葉遣い、動作などを繰り返し指導してきた。4年生になり、児童は、少しずつではあるが相手のことを自分のことに置き換えて考えることができるようになってきた。けれども、クラスの友だちや仲の良い友だちには「これくらい言ってもいいだろう。」「友だちだから大丈夫。」と遠慮のない厳しい言葉を投げつけている場面を見かけることもある。だれに対しても真心を持って接することができるよう、親しい仲にも礼儀が大切であることを考えさせたい。そして、2-(3)「友情・信頼、助け合い」の内容項目とも関連させ、健康的な仲間集団の育成に努めたい。相手の気持ちを考えた礼儀の大切さにふれて、高学年の内容項目2-(1)へとつなげていきたい。

(2) 児童の実態について

4年生も折り返し地点を過ぎ、様々な行事を力を合わせてやり遂げて、クラスのまとまりが感じられるようになってきた。当初、自己中心的な言動が目立っていた児童も少なくなかったが、この頃相手の気持ちや立場をふまえ、自分と置き換えて考えられる児童もふえてきた。しかし、本校は転入生もほとんどなく、小さい頃から一緒に過ごしてきた仲間同士や、スポーツ少年団などの人間関係はかなり固定化しており、友だち同士、遠慮のない会話も目立つ。また、トラブルになると、相手が傷つく（最もいやがる）言葉を投げつけたり、お互いに「このくらいは許されるだろう。」と言い過ぎてしまったりする場面も多く見られる。自分が言われると重く感じる言葉も、相手に対して何気なく言ったり書いたりしてしまうこともある。本時に関わるアンケートの結果は次のようになっている。

	あったか言葉について	ちくちく言葉について
どんな言葉があるでしょう？ ( )は使った・使われたことがある言葉数	28種類 66個 (25種類 85個)	32種類 99個 (27種類 73個)
どんなときに使いますか？	あいさつ。がんばったとき。 力を貸してくれたとき。 相手を大事に思うとき。(10種類)	けんかしたとき。うるさいとき。 いやなことがあったとき。 いらいらしてる時。(8種類)
言ったときの気持ちは？	うれしい。いい気持ち。温かい気持ち。 言って良かった。	すっきりしない。すっきりする。 もやもや。言っちゃった。
言われときの気持ちは？	うれしい。心があったかくなる。 ありがとう。いい人だ。	心が傷つく。いやな気持ち。悲しい。 むかつく。最悪なやつ。

ちくちく言葉の数の多さに驚いた。ちくちく言葉を言われた時の悲しくていやな気持ちはよく分かっているが、けんかしたりいらいらしたりすると使ってしまうことが分かった。言葉は心を伝えるものであると感じ取らせ、自分の感情のはけ口ではなく、相手を尊重した心を伝える大切なものであると考えさせたい。

(3) 資料について

本資料は、遊ぶ約束をした仲良しのかなちゃんへ、約束を破ったことに腹を立てた主人公が、悪口の手紙を書いたことから始まる。話合い①として、主人公がかなちゃんに手紙を書いたときの気持ちや、机の前でたたずむ気持ちに共感させたい。話合い②では、家に帰ってかなちゃんから電話があったことを知った主人公の心の内を考えさせたい。そして、話合い③では、泣きながら自分の書いた手紙をちぎっている主人公に寄り添わせ、その気持ちに迫りたい。話合い④として、主人公が、かなちゃんに自分の心を伝える手紙を書くことで、相手の気持ちを考えた言葉が大切であることを感じ取らせたい。

4 研究テーマに迫るための手立て

- (1) 事前にアンケートをとり、児童の良さから授業に入り、これからの実践意欲へつなげる。  
 (2) 話合い④はテーマ発問とし、言葉の大切さや、親しい仲にも礼儀があることを深く考えられるようにする。  
 (3) 本時の授業について学級通信で家庭に発信し、言葉遣いや相手に対する礼儀にも気をつけようとする児童の様子を伝え、家庭でも同じように意識して見守っていただけるようにする。

5 本時の学習指導

- (1) ねらい 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接し、言葉遣いに気をつけて生活しようとする意欲を高める。

(2) 展 開

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	○指導上の留意点 ◎人権教育上の配慮事項	・支援のポイント ◆評価	資料時間
導入	1 クラスのみんなが使っている「あったか言葉」を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんあるんだな。</li> <li>・私と同じだ。</li> <li>・あれもあったか言葉なの？</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの友だちの意見を知り、あったか言葉がたくさんある温かい雰囲気、授業が始められるようにする。</li> </ul>	あったか言葉 3分
展 開	2 登場人物、条件・状況について知る。	登場人物 主人公『わたし』 条件・状況・私はかなちゃんと遊ぶ約束をしたが、かなちゃんの都合で遊べなくなった。 ・けんかになったが、私の言葉を聞いてかなちゃんはプイッと行ってしまった。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲良しのかなちゃん</li> <li>・お母さん</li> </ul>	
	3 資料「かなちゃんへの手紙」の範読を聞く。 ・友達と話し合いたいところを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二人がけんかしているとき</li> <li>・かなちゃんへ手紙を書いたとき</li> <li>・机の前で立っているとき</li> <li>・家へ帰って電話があったことを知ったとき</li> <li>・お母さんの話を聞いたとき</li> <li>・手紙をちぎったとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主人公の気持ちを考えながら聞くように話し、集中して聞けるようにする。</li> <li>◎一人一人の意見を大切にし、細かく意見が出されたときは分かりやすくまとめ、話題を整理する。</li> <li>◆自分なりに、話し合いたいところが見つけられたか。</li> </ul>	8分	
	4 主人公の心の変化を中心に話し合う。 ① 悪口の手紙を書き、机の前で立っている主人公の気持ちを考えよう。 ② かなちゃんから電話があったことを知った主人公の心の内を考えよう。 ③ 主人公は、なぜ、泣きながら手紙をちぎったのだろう。 ④ 主人公は、かなちゃんにどんな手紙で自分の思いを伝えるだろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は悪くない。</li> <li>・約束を破って、かなちゃんが謝らないからだ。</li> <li>・もう絶対遊ばない。</li> <li>・どうしようかな。</li> <li>・この手紙渡していいのかな。</li> <li>・知らなかった。言ってくれればいいのに。</li> <li>・何で私に言ってくれなかったんだろう。</li> <li>・私が怒っていたから言えなかったのかな。</li> <li>・かなちゃんごめん。</li> <li>・こんな手紙書かなきゃ良かった。ひどいことをした。</li> <li>・悪口を消したかった。</li> <li>・机の中に入れてなくて良かった。</li> <li>・ひどいことを言ってごめんね。</li> <li>・かなちゃんの気持ちも考えなかった。</li> <li>・これからは、やさしい言葉を使いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の不満やいらいらをぶつけるために悪口の手紙を書いた主人公の気持ちに共感させる。怒りにまかせて書いた手紙を机の中に入れて迷う心にもふれ、受け取った相手のことを思う主人公の気持ちも考えさせる。</li> <li>○「なぜあのとき言ってくれなかったのか？」ということから、おこっていたときにはかなちゃんの気持ちを全然考えず、「私は悪くない。」と自分の感情をぶつけていたことを考えさせる。</li> <li>○自分の言葉を深く後悔する主人公に寄り添い、相手の気持ちをもっと考えて話をしていれば良かったと気付かせ、ねらいとする価値に迫りたい。</li> <li>○グループで話し合うことにより、全員の意見を出させる。また、話し合いの中でも心を伝える言葉を意識させ、相手に優しく思いを伝えさせたい。</li> <li>◆相手のことを考えた言葉が大切で親しき仲にも礼儀が必要であると感じ取れたか。</li> </ul>	場面絵 ①② シルエット 場面絵 ③ 場面絵 ④ 26分	
	5 今までの自分の生活を振り返り、礼儀正しい言葉遣いや行いについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な友だちだけでなく、地域の方や先生方、家族にも相手の気持ちを考えた言葉遣いや行いが大切なんだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○書く活動を取り入れ、自分の考えを整理させる。それを発表させることにより、価値を一般化していく。自分達にもできることがたくさんあることに気付かせたい。</li> </ul>	プリント 5分	
終末	6 校長先生のお話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『ありがとう』がこだまする元気な学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉の大切さや校長先生の思いを知り、実践しようとする意欲を高めたい。</li> </ul>	G T 3分	

6 評価の観点

- ・礼儀の大切さが分かり、友だちやだれに対しても相手のことを考えた言葉遣いに気をつけて生活しようという意欲が高まったか。  
(観察、日記、振り返りカードなど)